

第10回空港内の施設の維持管理等に係る検討委員会

議事概要

日時：令和5年6月21日（水）10:00～11:30

場所：尚友会館2階会議室

事務局等からの資料説明後、以下の意見交換がなされた。

○議事（1）航空局のDX活用の取組状況について

- BIM/CIMプラットフォームで、維持管理という観点からは最終的な出来形があればいいと思うが、今後どこを目指すかにより、どこまでのデータを求めるかというレベルが変わってくる。
- BIM/CIMの新しい切り口で、設計・施工・維持管理まで回るような、本当に大事なデータを取り込んでいく事が必要。
- BIM/CIMについては、主に設計に関わるモデル化や施工の効率化で進められているが、それが維持管理の段階になってもうまく使えると本来のBIM/CIMの目的としては非常にいい。
- 維持管理で欲しいモデルと、設計・施工で欲しいモデルというのが必ずしも一致していない。細かなところのデータを全部載せていくことが、設計、施工のモデル化で出来るのか気になるところ。
- 橋梁マネジメントの対象とされている25橋梁で、3次元デジタル野帳と3次元FEMモデルとの連携を含めて全ての橋梁でやろうとしているのか。似たような構造であれば、全橋梁でFEMをやらなくても、類似しているものを応用する考えもある。
- 橋梁マネジメントでこれからすべての橋梁を対象にモデルができていくと思うが、複数の橋梁を横並びで見て、どこを重点的にやるのか、どのような形で管理していくのかということを橋梁単体ではなく、グループの中で考えていく必要がある。
- 上下水道、電気・通信・情報のデータは維持管理上、全体の保全という意味からいざいれ統合するような形を取った方がよい。

○議事（2）空港内の施設の維持管理指針の見直し案について

- ドローンの使い方、バードアイで広く俯瞰できる特性を活かした使い方も検討してはどうか。
- デジタルトランスフォーメーションというのは変革のことなので、「DXの活用」「DXの取組」の表現よりは、「維持管理のDXを実現する取組を推進する」という使い方が適切だと思う。